

社会福祉法人宮崎福社会 中央保育園 様

宮崎県社会福祉サービス
第三者評価結果書

令和 元年 7月10日

評価機関名 特定非営利活動法人みやざき保健・福祉サービス評価機構

宮崎県社会福祉サービス第三者評価結果書

評価完了日：令和 元年 7月10日

評価機関：特定非営利活動法人みやざき保健・福祉サービス評価機構

1 第三者評価結果の概要

(1) 施設・事業所情報

施設・事業所名	中央保育園	種別	保育所
代表者氏名	園長 川越 祥子	定員 (利用人数)	170名
所在地	宮崎県宮崎市清水2丁目 8番地7号	TEL	0985-24-7626
		FAX	0985-26-8789
ホームページ	http://www.fukushikai.or.jp/chuou/		

(2) 評価結果

① 特に評価の高い点

法人・園全体において中長期計画が策定され、利用者にも周知さ、また法人の各施設長により委員会等が設置され研修等や職員処遇改善に向けた取組が行われています。利用者に対しアンケート実施や個別面談が行われ利用者の意見、意向が聞き取りされ改善に向けた取組が実施されています。

② 改善が求められる点

規程、規則等は作成されていますが、マニュアルの見直しを含めた再整備と周知・実施体制に不十分な点が見受けられましたので、その改善策を講じる必要があります。園内外の整理・整頓・掃除等は行き届いていますが、保育の環境整備全体の観点から、危機管理体制の見直しと発達過程に応じた玩具のさらなる充実、そして特に現在、未使用になっている旧池の安全策を講じることが急がれます。利用者調査の結果から、個人情報の保護管理体制と苦情解決体制について、利用者への周知方法の見直しが求められます。また、送迎時の駐車等に関して、市街地の中心に所在することから難しい点もあるかと思いますが、安全策の見直しも求められているところです。

③ 評価結果に対する施設・事業所のコメント

評価を受けた事で、園の弱点及び改善点が明確になってきた。職員全員で、話し合う機会を定期的に設け、全員が情報を共有しながら取り組んでいきたい。

まずは、担当毎に何のマニュアルが必要なのかを検討し、マニュアルを作成する。そのマニュアルを元にチェック表を作成し、数値で表し分析していく。定期的に評価、反省し、次に繋げていく。マニュアル等の整備・明確化を目指す。情報の発信においても、全職員、全保護者に取組みが分かりやすいように発信していく。

2 施設・事業所情報

経営法人・設置主体	社会福祉法人 宮崎福祉会
開設年月日	昭和22年4月1日
理念・基本方針	<p>保育理念：「きらきらかがやくひとみ」養護と教育を通して、乳幼児の最善の利益を根本とした子どもの心に寄り添う保育を行い、家庭や地域との相互理解と連携を図りながら、居心地の良い保育園作りを目指します。</p> <p>保育方針：子ども一人ひとりの個性が十分に発揮され、豊かな人間性・生きる力を育てるよう保育をします。</p> <p>保育目標：・あいさつのできる子ども・元気な子ども・みんなと仲よくする子ども・自分の事は自分でできる子ども・よく考える子ども</p>
事業内容	保育所
職員数	<p>常勤職員数 32名</p> <p>非常勤職員数 12名</p>
専門職	<p>(専門職の名称)</p> <p>保育士 32名 保育補助 1名</p> <p>調理員 4名</p> <p>環境整備 1名</p> <p>事務員 1名</p>
施設・設備の概要	<p>敷地面積 1,759㎡ 建物面積 827㎡</p> <p>保育室6室・乳児室1室・ほふく室1室・遊戯室1室・調理室1室</p> <p>・便所7室・調乳室1室・沐浴室1室・事務室1室</p> <p>【屋外設備】</p>

特徴的な取組	<p>*0・1・2歳児・・・担当制保育</p> <p>*3・4・5歳児・・・異年齢児保育</p> <p>*以上児チャレンジ保育として</p> <p>3・4・5歳児：スポーツ教室 英語であそぼう お歌であそぼう</p> <p>4・5歳児：スイミング リトミック</p> <p>5歳児：和太鼓 文字指導</p> <p>子育て支援：こもれび広場 地域貢献：サロン活動</p> <p>一時保育 延長保育 学童保育</p>
--------	--

3 評価分類別評価内容

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

1 理念・基本方針の確立	<p>理念・方針等がパンフレットやホームページに記載され、年度当初に職員会で目指すべき職員像とともに確認が行われ、保護者説明会にて理念・方針に沿った保育内容の説明が行われています。</p>
2 計画の策定	<p>法人全体、園において中長期計画が策定され、課題等が理念方針に沿った目標が改善計画に記載され、確認、評価が行われ見直しが実施されています。</p> <p>今後、具体的な数値や成果目標が設定されることを望みます。</p>

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

1 経営状況の把握	<p>各種専門誌や情報誌により社会福祉事業の動向等や宮崎市の福祉計画の内容などを把握し、地域の子育て世代の保育ニーズや利用者の推移や利用率など分析され、経営環境・状況を踏まえ役員会、法人園長会で共有化されています。</p>
2 人材育成と確保	<p>就職フェア参加や実習生受入やボランティア受入を積極的に行い人材確保の取組が行われています。</p> <p>勤務年数別や職種別研修が行われ、自己報告書による意向調査等が行われています。</p>
3 安全管理	<p>法人園長会において委員会が設置され、各園はじめ専門誌や新聞、インターネットなどから情報収集や市や学校からの身近な情報収集、管理が行われ改善策、再発防止等の検討会議が設けられています。自園において危険個所の認識がある旧池の跡の対応策を施設、法人においてされることを望みます</p>
4 地域との交流と連携	<p>地域の子育て世代との交流の場として「こもれび広場」（第一火曜）の開催や社会福祉協議会と共同開催で月2回のサロ</p>

	ン活動を行っています。地域の開催行事に園児が参加するなど地域との繋がる活動が行われ、地域資源情報や参加報告などが地域版園だよりに記載されています。
--	---

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者の尊重	理念・方針に基本姿勢は明記され、人権擁護に関するチェックリストを用いて職員の意識向上が図られ人権に配慮した実践が行われています。 プライバシー保護・虐待防止等に関する規程、マニュアルが整備され職員の理解、保育実践が行われています。
2 利用者満足の向上	子どもの主体的取組を取り入れるよう子どもの声をよく聞くような保育が実践され、保護者アンケートが年3回ほど実施されており保育参観後に懇談会が実施され意見聴取などがなされています。 法人で第三者委員が設置され苦情解決の体制が整備され、ホームページに苦情内容が公表されています。
3 サービスの質の確保	施設長、主任、リーダー等の指導や研修等により標準的な保育が実践され、園内・法人研修において保育実践研修が行われ見直す取組も行われています。 今後は、様々な職種、年数などの立場の方の意見を反映された保育実践マニュアル作成を望まれます。
A 保育課程の策定	保育課程（総合的な保育の計画）は策定されていますが、職員参画のもと、実際の保育に即した計画の策定が望まれます。
A 保育環境の配慮	整理整頓清掃が行き届いており、清潔な環境のもと、市街地にありながら自然環境を可能な限り生かし、一人ひとりの子供の発達に応じた対応がなされています。今後はさらなる遊具の充実と、園庭の安全面の配慮が求められると思われる箇所がありますので、その改善も望まれます。
A その他	健康・安全・衛生管理や子育て支援・相談、情報提供等、園全体として献身的に取り組まれています。今後は施設間の職員移動による保護者の不安解消策と、職員間での情報共有や保育記録の負担軽減等の改善策等を施すことにより、今の保育実践がさらに充実されることと思われます。また、送迎時の交通安全面での配慮等も今後の課題と思われます。

詳細は別紙「評価結果表」を参照。

評価結果票
【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		評価
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
評価コメント 理念・方針等はパンフレットやホームページに記載され、年度当初での職員会議での読み合わせとともに目指すべき職員像の確認が行われ、保護者説明会で理念・方針に沿った保育内容が説明されています。今後は職員や保護者に周知され実施、支援されているかなどを踏まえ計測的な取り組みが望まれます。		

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		評価
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
評価コメント 各種専門誌や情報誌により社会福祉事業の動向等や宮崎市の福祉計画の内容などを把握し、地域の子育て世代の保育ニーズや利用者の推移や利用率など分析されています。今後は把握された課題等を分析し、より安定的な良質な保育の提供と継続性に期待します。		
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
評価コメント 事業経営環境・状況を踏まえ多方面の課題等を法人全体で捉え、役員会、法人園長会で共有化されています。今後は職員へも状況や課題を周知する場を設け、法人または園での意識統一が図られることを望みます。		

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		評価
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
評価コメント 法人全体・園において中長期計画が策定され課題等の改善計画が理念方針に沿った目標設定され、状況の確認・評価が行われ、見直しも行われています。今後は事業計画がより具体的な数値や成果を目標設定されることと事業計画に伴う収支計画が策定されることを望みます。		
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
評価コメント 中長期計画に基づく事業内容が記された単年度事業計画が策定されています。中長期計画同様、具体的な数値や成果を目標設定されることと事業計画に伴う収支計画が策定されることを望みます。		

評価結果票
【共通評価基準】

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		評価
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<p>評価コメント</p> <p>事業計画が職員参画のもと作成され内容確認等もされています。しかし、法人内監査での評価・見直しが職員まで降りておらず、今後は職員へ理解・周知を促す取り組みを期待します。</p>		
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
<p>評価コメント</p> <p>入園のしおり等に事業計画が記載され、入園説明会で説明がされています。また開催日直近には掲示等も行われています。保護者参加事業で内容等も含め周知が行われています。今後はより保護者にも伝わり、理解を得られるような資料等の作成を期待いたします。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		評価
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<p>評価コメント</p> <p>自己評価が6月、1月と定期的に行われ、また「こどもを尊重する保育」チェックリストも行われています。実施された自己評価等が評価までは行われていますが今後は見直しまで行い質の向上に繋がることを期待いたします。</p>		
9	② 評価にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<p>評価コメント</p> <p>自己評価を実施し課題等は評価表に明記されていますが、職員間での共有化及び改善計画策定まで至っていませんので、改善計画の策定後、改善策に対する評価を行い、必要に応じた見直しが行われることを望みます。</p>		

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		評価
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
<p>評価コメント</p> <p>施設長の役割・責任・責務が明文化され表明、周知されています。また、有事の際や不在の際の権限移譲も伝達・周知されています。今後はより一層、積極性を持ち施設長としての責務に取り組むことを期待します。</p>		
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	c
<p>評価コメント</p> <p>法人内において各施設長による委員会が設置され、勉強会・研修が実施されています。法令遵守の取り組み幅広い分野で法人全体で行なっていますが職員への周知や具体的な取り組みを積極的に行うことを期待します。</p>		

評価結果票
【共通評価基準】

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		評価
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b
<p>評価コメント</p> <p>園内リーダー会議での課題等に対し研修を行うなど職員の意見を反映している取組が行われていますが、より一層の保育の質の向上を目指し指導力を余すところないように発揮することを期待します。</p>		
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b
<p>評価コメント</p> <p>法人内部での施設長会などにおいて財務・人事・労務等の管理が行われ、また施設において適宜、非常勤職員の確保が行われています。今後は今まで以上に経営改善や業務の実効性を高めるため積極的な参画を望みます。</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		評価
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	c
<p>評価コメント</p> <p>子どもの入所人数に対する人材確保、人員配置や定着等の関する年数別研修などは実施されていますが、今後は職員の育児出産等も見越した具体的な計画が確立され実施されることを望みます。</p>		
15	② 総合的な人事管理が行われている。	b
<p>評価コメント</p> <p>期待する職員像・人事評価基準等が明確に定められており、職員等にも周知されています。また、職員の自己報告書による意向調査が行われています。今後も職員がより具体的に将来設計のできる総合的な仕組みが構築されることを期待します。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		評価
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b
<p>評価コメント</p> <p>法人において職員の就業状況及び意向を把握し、心身ともに健康安全に過ごせるように努めています。法人全体で社員旅行やレクリエーション活動を行い、働きやすい職場環境作りに取り組んでいます。今後は人員体制等の具体的計画を作成し、より職員が働きやすき職場環境作りを望みます。</p>		

評価結果票
【共通評価基準】

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		評価
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<p>評価コメント</p> <p>期待する職員像は明確にされ、面接等も行われ達成度の確認などは行われています。今後はより明確な目標項目・水準・期限等を適切に設定し主任、施設長などにより助言、支援が行われることを期待します。</p>		
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<p>評価コメント</p> <p>職種や技能、習熟度等による研修計画が策定、実施されています。今後は日々変化する地域の教育・保育の実情に対応し保育指針改定なども考慮し研修内容などの評価見直しを行うことを期待いたします。</p>		
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
<p>評価コメント</p> <p>職種・正規、非正規を問わず研修の機会が設けられ、法人内において年数別研修なども行われています。今後はより細やかな智識・技術等の各個人の研修の情報提供や参加の機会を望みます。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		評価
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	c
<p>評価コメント</p> <p>養成校、学校側と連携して実習職種プログラムの整備し実習期間中の実習生の指導、ケア等が行われています。今後、マニュアル等を整備し全職員、保護者、子どもたちへの事前説明を行うとともに実習生への細やかな配慮を望みます。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		評価
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
<p>評価コメント</p> <p>法人HPにおいて然るべき情報公開がなされ、保育園HPでは入園のしおりや方針、目標など利用者や関係者への情報公開がされています。また、地域への情報公開として法人新聞が発行され法人内の各事業所の活動取組などが公開されています。</p>		
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
<p>評価コメント</p> <p>法人本部において事務、経理、取引等のルールが明確化され、保育園においても権限、責任が明確にされています。また法人において内部監査が年2回行われ、税理会計事務所のチェックが行われ指導、改善が行われています。</p>		

評価結果票
【共通評価基準】

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		評価
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
<p>評価コメント</p> <p>地域の子育て世代との交流の場として「こもれび広場」（第一火曜）の開催や社会福祉協議会と共同開催で月2回のサロン活動を行っています。地域の開催行事に園児が参加するなど地域との繋がる活動が行われ、地域資源情報や参加報告などが地域版園だよりに記載されています。</p>		
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
<p>評価コメント</p> <p>中高生・地域ボランティアを積極的に受入、法人としてボランティア受入に関する基本姿勢を明文化されています。また、実習生や就職希望者などへボランティア活動を促進されていますがマニュアルの作成が必要と思われる。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		評価
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<p>評価コメント</p> <p>必要とされる関係機関・団体等のリストが作成され、様々な事案に適切な対応ができる連携体制が整っています。児童虐待等が疑われるような事案などにも関係機関と連携が図られています。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		評価
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b
<p>評価コメント</p> <p>地域の子育て世代や未就学園児や在園児の妹や弟を対象に、「こもれび広場」（第1第3火曜日）に子育て支援と同時に育児相談を行っています。社会福祉協議会と協力して地域の高齢者の方とのサロン活動も毎月2回行い、世代間交流を楽しんでいる。災害時における地域との役割等の確認が今後の課題としてあります。</p>		
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c
<p>評価コメント</p> <p>地域の方に社会福祉協議会と連携しニーズ把握に努め、園内会議室を提供したり地域の見回りとして子ども達とゴミ拾い活動を行ったり、子育て家庭の相談等は「こもれび広場」などで行っています。今後はより具体的な地域ニーズ把握のため民生児童委員などとの定期的な情報交換や会議等が必要と思われる。</p>		

評価結果票
【共通評価基準】

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		評価
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
<p>評価コメント</p> <p>理念・方針に基本姿勢は明記され、人権擁護に関するチェックリストを用いて職員の意識向上が図られ人権に配慮した実践が行われていますが、性別、年齢、障がいなどの固定観念を生まない子どもの権利擁護を尊重した実践が行われることを期待します。</p>		
29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b
<p>評価コメント</p> <p>プライバシー保護・虐待防止等に関する規程・マニュアルは整備され職員の理解が図られていますが、不適切な事案対応など不備が見られ、また規程・マニュアルに沿った保育実践の具体策、記録がされること望みます。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（決定）が適切に行われている。		評価
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
<p>評価コメント</p> <p>入園のしおり（パンフレット）は見やすいように工夫されており、法人事業所に常備されています。見学希望者の対応や施設、保育内容等にも個別に丁寧に対応されています。</p>		
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
<p>評価コメント</p> <p>保育の開始や内容変更では保護者の意向を配慮し、分かり易い説明、資料等が準備されています。標準時間保育や短時間保育においても施設の利用時間等が明記されています。また、配慮が必要な保護者への説明は施設長自ら行うようにルール化されています。</p>		
32	③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	c
<p>評価コメント</p> <p>卒園児等に保育園でのイベント案内をするなどの配慮がなされています。今後は担当者や方法などを記した文書を配布するなどの配慮が必要と思います。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		評価
33	① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
<p>評価コメント</p> <p>日々の保育の中で子どもの主体的取組を取り入れるよう子どもの声をよく聞くような保育が実践され、保護者アンケートが年3回ほど実施されており保育参観後に懇談会が実施され意見聴取などがなされています。今後は聴取された意見を参考に検討会議設置し具体的改善方法の提示されることを望みます。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		評価
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
<p>評価コメント</p> <p>法人で第三者委員が設置され、苦情解決の体制は整備されています。また、苦情の内容、解決法、結果等はHPに年度末に掲載しフィードバックされています。アンケートなどは匿名性を重視し意見等が出しやすい工夫をしてください。</p>		
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b

評価結果票
【共通評価基準】

	<p>評価コメント</p> <p>年度当初に全保護者と面談し相談や意見の方法等を説明され、実際には複数の相談相手（クラス担任が主）が実施していますが、複数手段や相手を選べる説明書類を作成することが望まれます。</p>	
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	<p>評価コメント</p> <p>運営規程において相談・意見を受けた際の記録・報告の手順等は記載されています。また、送迎時の直接的な対話を重視していますが意見箱を設置や日々の連絡帳活用など積極的に把握する姿勢が窺えます。今後、定期的なマニュアル等の見直しにより様々は保護者への対応を期待します。</p>	
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		評価
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
	<p>評価コメント</p> <p>法人園長会において委員会が設置され、各園はじめ専門誌や新聞、インターネットなどから情報収集や市や学校からの身近な情報収集、管理が行われ改善策、再発防止等の検討会議が設けられています。自園において危険個所の認識がある旧池の跡の対応策を施設、法人においてされることを望みます。</p>	
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
	<p>評価コメント</p> <p>マニュアルが作成され管理体制が整備されています。また嘔吐の際の処理セット等の準備され、方法も職員に周知されています。感染症が発生した場合は掲示板にて保護者へ情報提供され注意喚起もなされています。今後、定期的に研修や実習の場を設けることを望みます。</p>	
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	c
	<p>評価コメント</p> <p>災害時の体制が明確にされ非常食等の備品管理も的確に行われています。有事の際の事業継続対策（情報収集・事前判断）がされていますが安否確認の場面で不透明な部分がありますので、職員に周知されることを望みます。</p>	

評価結果票
【共通評価基準】

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		評価
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	c
<p>評価コメント</p> <p>施設長、主任、リーダーの指導、または研修等において標準的な保育が実践されていますが、標準的な保育実施方法をマニュアル化し、更なる職員の質の向上を望みます。</p>		
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c
<p>評価コメント</p> <p>園内研修、法人研修において実施方法の実践が行われ見直し取り組みはされていますが、仕組みとして確立し様々な立場の方からの意見が反映する取り組みになることを期待します。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		評価
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b
<p>評価コメント</p> <p>指導計画策定責任者が設置され、年度当初の保護者面談での意見聴取された意向とが計画に反映されています。また、計画策定においては様々な職種の職員参画のもと計画策定が行われ、特別な支援が必要と思われる場合には関係機関と連携が図られています。今後は保育指針等に基づき5領域や10の姿などの項目を考慮したアセスメント手法の確立を望みます。</p>		
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b
<p>評価コメント</p> <p>年度上期終了時など各クラスにおいて指導計画の評価・見直しが行われています。また、見直しの際には保護者面談等を行い、意向、同意を得られていますが緊急時の仕組みや、より組織的な取り組み、保育の質の向上に係る課題の明確にされることが必要とされます。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		評価
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
<p>評価コメント</p> <p>法人において用紙の統一を図り、共通の書類で作成され、記録の書き方等は園内研修や法人年層別研修などで指導が行われています。定期的、または突発的な職員会議により情報の共有がなされていますが、情報の分別や必要な情報が職員へ届けられるような仕組みづくりを期待します。</p>		
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
<p>評価コメント</p> <p>法人において個人情報保護規程等が策定され保管、保存、破棄、提供の規定が定められています。また、保護者等へ個人情報取り扱いを説明会で説明され同意もいただいています。今後個人情報保護規定の観点から職員研修の実施を望みます。</p>		

評価結果票 【内容評価基準】

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		評価
1	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	b
評価コメント		
保育課程（全体的な計画）は策定されていますが、今後は職員参画のもと、理念や方針に基づいた保育課程の編成が望まれます。		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		評価
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b
評価コメント		
衛生面に関する実施計画や体制は整えられ、手作りおもちゃ等を工夫しながら保育室に配置しています。今後は、手作りおもちゃに加え、子どもの発達段階に応じた、また興味を引くようなおもちゃの数や量にも配慮していく事が望まれます。		
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b
評価コメント		
3歳以上児においては自発性を促す配慮をし、また未満児においては担当制を取り入れながら、子ども一人ひとりの欲求を満たすよう配慮や援助を行っています。しかし、自己評価での課題にもあったように、急かす言葉等を不必要に用いる事等、職員全体でもう一度確認する必要があります。		
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	b
評価コメント		
基本的な生活習慣が自立へ向かうように室内の保育環境を工夫し、また家庭と連携しながら子ども一人一人に応じた配慮や援助はなされています。今後は、園全体の保健計画を職員間で共有しながら、基本的な生活習慣に対する人や物の環境整備を強化していくことが望まれます。		
5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b
評価コメント		
室内環境については、コーナー保育やオープンなランチルーム等を設定し子どもが選択する機会を増やししながら、自主性を育んでいます。また園庭においては、園が市街地に所在しているにも関わらず木々や草花が豊かに茂り、子どもたちが四季の変化や命の大切さを自然に感じるよう工夫されています。しかし園庭において、危険と思われる箇所があったので、職員会等で話し合い、改善していくことが求められます。		
6	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
評価コメント		
担当制を取り入れ子どもとの愛着関係を密に応答的な関りを持っています。月齢に応じた玩具を用意し発達に応じた興味関心を持って身体を動かす保育が行われています。また、連絡帳や登園降園時の保護者との情報交換を行っています。		
7	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
評価コメント		
適切な保育室の広さを保ちながら、園の特徴でもある担当制保育のもと3歳未満時保育を展開しています。特に1歳児においては、高月齢、低月齢の2クラスに分かれて保育をするなど、丁寧な保育が行われています。今後は、職員間でおもちゃの数や量、興味への配慮を深めながら、より一層子どもたちの自発的な活動が高まっていくことを期待します。		

評価結果票 【内容評価基準】

8	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
	<p>評価コメント</p> <p>3歳以上児保育においては異年齢児保育を中心にしながら、子どもたちの理解力等を高める工夫や、活動に応じて年齢別保育を展開する等、工夫をしています。また、地域社会に対しては、園便りの地域版を毎月配布して園が持つ情報を提供しながら積極的に園外保育に取り組み、地域との関係性を深めています。今後は、現在の保育環境をより活かしたり改善したりしながら、現在の保育者が保育環境を十分活かし保育が展開できるような工夫することが望まれます。</p>	
9	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
	<p>評価コメント</p> <p>障がいのある子どもや気になる子どもの保育においては、ケース会議をもとに個別支援計画を立て、子どもの状況に応じた保育を展開し、また外部の関係機関との連携も進めています。今後は園内での情報の共有の仕方や保護者との情報共有の方法、そして書類作成等に工夫を加えながら、より一層配慮された援助がなされることに期待します。</p>	
10	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
	<p>評価コメント</p> <p>長時間保育にあたり、子どもの日中の様子や連絡事項などの引き継ぎは適切に行われています。今後は、子ども一人ひとりの1日の保育の連続性を踏まえ、保育内容の引き継ぎのための話し合いの場を持つ工夫やゆったりと過ごす空間作りについての研修の場を持つ等しながら、長時間保育に計画性を持たせることが求められます。</p>	
11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	c
	<p>評価コメント</p> <p>小学校との連携をする際のポイント（3つの柱と10の姿等）をもとに、小学校へのアプローチプログラム等の早急な作成と、その計画に基づく保育を展開する必要があります。また保幼小連携協議会への出席に止まらず、園側から小学校側への積極的な連携アプローチも求められます。</p>	
A-1-(3) 健康管理		評価
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	c
	<p>評価コメント</p> <p>各保育者により、子どもの健康管理に関することを把握したり、その状況を保護者に伝えているようですが、組織としての方針やマニュアルの整備がなされていない点が見受けられます。今後は、健康管理に関する計画を園全体として確実に実行するためにも、方針の明文化やマニュアル等の整備が急がれます。</p>	
13	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
	<p>評価コメント</p> <p>健康診断や歯科検診の実施や記録、保護者への伝達については、確実に行われています。</p>	
14	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b
	<p>評価コメント</p> <p>アレルギー疾患の子どもに対しては医師の診断書に基づいて対応し、保護者との連携のもと、園内での食事提供に関して配慮をしながら行われています。今後は園内研修や外部研修等により、子どもや保護者に対して、アレルギー疾患や慢性疾患等についての理解を図るための取り組みの調査研究を行うことが期待されます。</p>	
A-1-(4) 食事		評価
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
	<p>評価コメント</p> <p>食育計画をもとに、地産地消を進めたり子どもが季節感を感じるような工夫がなされています。また、食事や食育に関する情報提供等にも数多くの工夫が見られます。特徴的なことは、ランチルームを有効に活用したり、食器等へのこだわりや量の加減やおかわり等、子どもたちが食事自体を楽しめるように人的・物的両面での配慮に工夫がなされている点です。</p>	
16	① 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	b
	<p>評価コメント</p>	

評価結果票 【内容評価基準】

離乳食をはじめ、食事に関することと家庭との連携は大切にしています。献立は宮崎市内の共通献立をもとに調理を進めていることですが、その制限の中、残菜の調査や検査簿をもとにした献立や調理等への工夫に期待します。

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		評価
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b
評価コメント 全保護者への面談のみならず、希望する保護者や気になる子どもの保護者にはその都度面談の機会を設ける等、子どもの生活への充実に対して努力され、またその記録方法にも工夫がなされています。今後は、支援のための記録の活かし方等を園内で研究を通して、より一層支援が深まることを期待します。		
A-2-(2) 保護者等の支援		評価
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b
評価コメント 日々の保護者とのコミュニケーションを大切にしながら、信頼関係を深めていく事で相談しやすい雰囲気作りに努められています。また記録も適切になされており、情報の共有にも工夫がなされています。今後は、園内での相談体制とその内容や役割等の明確化等により、より一層保護者が安心して子育て支援が行われることを期待します。		
19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b
評価コメント 虐待等権利侵害に関してのマニュアルはあり、また日々の保育における工夫によりその把握にも務め、関係機関との連携も適切に行われています。自己評価にもあったように、虐待等権利侵害に関するマニュアルを活かすための園内研修や園外研修の機会を増やすこと等により、より確実な虐待等権利侵害の早期発見と対策や予防が行われることを期待します。		

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の評価)		評価
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b
評価コメント 保育士等が職員会議等の場を通じて、自己評価を定期的に行い保育の改善に努められています。今後は自己評価を、学びの場や意識の向上に有効につなげていくためにICT化等を進めながら、より一層の効果と負担軽減が望まれます。		